

登録コード	MA727200	開講年度	2026			
授業科目名	看護政策論				担当教員	新井 清美 他
英文授業名	Seminer in Nursing Policies				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	対象専攻 / 学年	成人・老年看護学領域 / 1 年次
講義室		授業形態	講義	授業科目区分	(周麻酔期) 選択科目	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)					
	【保健学】保健・医療・福祉の実践現場で他の分野と連携して新たな保健医療改革に貢献できる能力を有する。				看護政策および看護を取り巻く様々な課題を理解し説明することができるようになる。	
(2)授業の概要	講義・ディスカッション・プレゼンテーションを通して保健医療政策の動向と看護を取り巻く課題から、看護ケア提供システムの方策を検討する。					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	・看護政策について理解できる。 ・看護を取り巻く様々な問題や課題を説明できる。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	保健医療政策の動向を学び、保健医療政策の動向と看護を取り巻く課題から、看護ケア提供システムの方策を具体的に説明できる。					
(5)授業計画	第1回：看護を取り巻く近年の問題点課題の抽出 第2回～14回：以下の点について講義、ディスカッション、学生のプレゼンテーション ・看護職員需給政策 ・医療法と看護 ・診療報酬と看護 ・看護政策とは何か、政策決定のプロセス ・看護専門職と看護政策 * 自分の考える看護問題を政策決定にする手法をディスカッションを通し検討する。プレゼンテーションは以上の中より2つ選択し、各自文献を検討し発表する。 第15回：全体のまとめ 開講日程は受講学生と相談の上決定します。					
(6)授業の進め方	講義・プレゼンテーションおよび受講生のプレゼンテーションにより進めていきます。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	事前学修に基づきプレゼンテーション・ディスカッションを行います。講義により明らかになった課題を事後課題で深めてください。 【履修上の注意】 授業に参加できない場合は、事前に連絡してください。 web会議システムによる研究指導を行う場合があります。その際には事前にアクセスID / パスワードを通知します。					
(8)成績評価の方法	ディスカッション30%やプレゼンテーション70%により評価します。					
(9)成績評価の基準	90-100点秀, 80-89点優, 70-79点良, 60-69点可, 60点未満不可とする。 プレゼンテーション 内容の適切性（15点）：指定課題の内容にそって十分な情報と分析が行われており、適切に内容がまとめられている。 構成の適切性（15点）：論理的に構成され、情報・分析と自己の考えが明確である。 資料の適切性（15点）：理解しやすく適切な表現で、図表等を効果的に用いている。 発表姿勢の適切性（15点）：視線や声量、話すスピードが適切で一貫性のある態度である。 質問への応答（10点）：質問に適切にこたえ、自身の不明点を適切に伝えることができている。 ディスカッションの参加度 論理性（10点）：論理的なディスカッションができる。 主体性・積極性（10点）；主体的・積極的に参加する。 協働性（10点）：他者の意見をよく聴き、相互に有効なディスカッションにできる。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問・相談は適宜対応します。事前にメールでご連絡ください。 新井清美：k_arai@shinshu-u.ac.jp ・本科目は、周麻酔期看護学生が対象です。 ・2026年度は開講しない。					
【テキスト，教材，参考書】	後日，提示します。					